

二一七九番

朝露あさつゆに にほひそめたる 秋山あきやまに しぐれな降り  
そ あり渡るわたがね

二一八〇番

九月ながつきの しぐれの雨あめに 濡れ通りぬとほ 春日かすがの山やまは  
色付きいろづにけり

二一八一番

雁かりが音ねの 寒さむき朝明あさひの 露つゆならし 春日かすがの山やまを  
にほはすものは

二一八二番

このころの 暁露あかとあつゆに 我がやどの 萩はぎの下葉したばは  
色付きいろづにけり